

観 点 発行者	2・東書	46・帝国
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう取り上げられている学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、中心からの距離と方位が正しい地図と面積が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、日本の人口分布や増減率の特色を読み取ったり、日本の火山と地震の分布から、災害と向き合う方策を考えたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図の読図を通して分かることを地域の特色を踏まえて整理したり、資料図にキャラクターの吹き出しを設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、ヨーロッパ中心の面積が正しい地図や東京からの距離と方位が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、農業や工業の分布の特色を読み取ったり、東京都周辺の地形図から発生しやすい自然災害とその対策を調べたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に学習課題を設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて自然環境や農業等に関する資料図を選択できるような構成 <p>○ 内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 192 ページ（4%増） 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて環境問題や日本との結び付きを示した資料図を選択できるような構成 <p>○ 内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 176 ページ（7%増）
使用上の配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と結び付きが強い世界の各州に、自然地形をとらえられる鳥瞰図の掲載や、北海道地方のテーマ資料においてアイヌ語に由来する地名の資料図を掲載 <p>○ 主体的に学習に取り組む工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この地図の地図記号・活用方法」に地図帳の活用例や学習の指針を提示や、関連する資料を示す「ジャンプ」を掲載 <p>○ 使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に 197 か国及び 47 都道府県の統計をまとめて掲載 ・ユニバーサルデザインフォントの使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の各州に生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図の掲載や、北海道地方の資料において開拓の歴史とアイヌ語地名の資料図を掲載 <p>○ 主体的に学習に取り組む工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地図帳の使い方」に地図帳の活用例や学習の指針の提示や、関連性の深い内容を示す矢印マークを掲載 <p>○ 使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に 197 か国及び 47 都道府県の統計をまとめて掲載 ・ユニバーサルデザインフォントの使用
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭川市で観測された-41°Cの記録や旭川市の1年間の霧が生じる日数が取り扱われている ・北海道地方は、8 ページ分の地図が掲載されるとともに、「北海道の基本資料」において9種類の資料が取り扱われている ・北方領土については、「日本の周辺」などで取り扱われている <p>○ ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Dマーク」（QRコード）を掲載し、国土地理院のデジタル地図や、世界や日本各地の白地図、気象庁などへのリンク集などを活用できるよう工夫がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・旭川市で観測された-41°Cの記録が取り扱われている ・北海道地方は8 ページ分の地図が掲載されるとともに、「北海道地方の資料」において11種類の資料が取り扱われている ・北方領土については、「日本領土とそのまわりの国々」などで取り扱われている <p>○ ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード（QRコード）を掲載し、「NHK for school」の動画や、国土地理院のデジタル地図、自然や産業をテーマとした主題図、統計資料などを学習に活用できるよう工夫がなされている

観 点 発行 者	2・東書	46・帝国
指導上の配慮等	<p>○ 小中連携による指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この地図帳の地図記号」において、索引の使い方を説明するなど、小学校の既習事項を振り返ることができるよう配慮がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地図帳の使い方」において、索引の使い方を説明したり、「都道府県と昔の国名」で位置や名称の復習を促したりして、小学校の既習事項を振り返ることができるよう配慮がなされている ・デジタルコンテンツに「小学校の復習をしよう」が設けられている
本市生徒の学習の状況等	<p>○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史の舞台・九州地方」や「EU加盟国の拡大」などの資料を掲載するとともに「歴史・公民マーク」を付ける工夫がなされている ・世界の州、日本の地方ごとに「基本資料」を設け、各地域の自然環境や土地利用、降水量などの資料を掲載し、3分野全ての学習で活用できるよう工夫がなされている <p>○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月と7月の降水量を表す地図を掲載や、2つの年代の神戸市付近の地図を比較させる活動を位置付ける工夫がなされている ・関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けるなどの工夫がなされている 	<p>○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東アジアと日本の交流歴史」の地図や「日本の統計」に合計特殊出生率を掲載する工夫がなされている ・世界の州、日本の地方ごとに「資料」を設け、自然や土地利用、降水量などの資料を掲載するなど、3分野全ての学習で活用できるよう工夫がなされている <p>○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月と8月の降水量を表す地図や、2つの年代による変化を読み取らせる活動を日本各地域の資料全てに位置付ける工夫がなされている ・「地図活用」のコーナーを設定し、複数のページで、複数の地図を参照させる活動を位置付けるなどの工夫がなされている
その他		